

# 令和6年度共同住宅用 EV充電設備整備促進 セミナー（第2回）

---

令和6年10月

※このセミナーは、神奈川県がENECHANGE株式会社に委託して行います。

# 本日のアジェンダ

---

## 第1部

EV充電のしくみ

EV充電設備について

主な電気自動車の充電時間

EV普及率・普及台数

## 第2部

マンションでのEV充電設備の整備に関する

トピック

## 第3部

分譲マンションにおける設置の進め方

1.設置検討のための会議体の立ち上げ

2.現状把握

3.検討スケジュール作成

4.充電設備の設置場所・設置基数の検討

事例紹介

## 第4部

まとめ

## 第5部

質疑応答

# EV充電のしくみ

国内で販売されているEV（電気自動車）、PHV（プラグインハイブリッド車）の充電口は、主に普通充電と急速充電の2口用意されています。一方、海外メーカー製の一部車両には例外もあり、例えばテスラはオリジナルの充電口が1つとなり、日本において一般的に普及している普通充電器もしくは急速充電器を利用する際には、専用のアダプターを取り付けて充電を行います。

## 一般的な電気自動車



アウトランダー-PHEV



日産リーフ

## テスラ社製の電気自動車



テスラ

# EV充電設備について（普通充電設備と急速充電設備の違い）

EV充電設備には、以下のようにいくつかの種類があります。それぞれにメリット・デメリットがありますので、違いを理解した上で選定する必要があります。

## 充電設備の種類

	普通充電設備			急速充電設備
	コンセントタイプ	ケーブル付き		
出力	3kW	3kW	6kW	10～150kW
				
利用方法	車両純正の専用ケーブル*をコンセントに接続して利用	充電器のコネクターを車両の給電口に直接接続		
メリット	機器が安価	コンセントに比較して手順が少ない	比較的充電時間が短い	充電時間が短い
デメリット	専用ケーブルの出し入れの手間がかかる 充電に時間がかかる	充電に時間がかかる	3kWに比べると受電設備容量が必要	機器・工事費が高額 充電終了後に車両移動が必要

\*専用ケーブルは車両購入時に付属又はオプション部品として自動車販売店から購入

# 主な電気自動車の充電時間（1）

EVの車種によって対応する充電出力が異なります。また、バッテリーの容量も車種によって異なるため、満充電までにかかる時間も車種によって異なります。

## 国内販売車種別の充電時間（1）

メーカー	車名		バッテリー容量	最大充電出力		充電時間		
				普通	急速	3kW	6kW	急速* (80%まで)
日産	サクラ		20kWh	2.9kW	30kW	8時間 (2.9kW)	-	40分
	リーフ		40kWh	3.0kW	50kW	16時間	8時間	40分
			60kWh	6.0kW	100kW	23.5時間	12.5時間	60分
	アリア		66kWh	6.0kW	130kW	25.5時間	12.0時間	65分
トヨタ	bZ4X		71.4 kWh	6.6kW	150kW	21時間	12時間	60分
レクサス	RZ450e		71.4 kWh	6kW	150kW	21時間	12時間	60分
三菱自動車	eKクロスEV		20kWh	2.9kW	30kW	8時間 (2.9kW)	-	40分

※50kWの場合

※上記は参考です。詳しくは各メーカーへお問い合わせください。

# 主な電気自動車の充電時間 (2)

## 国内販売車種別の充電時間 (2)

メーカー	車名		バッテリー容量	最大充電出力		充電時間		
				普通	急速	3kW	6kW	急速* (80%まで)
ヒョンデ	IONIQ5		58kWh	10.5kW	101kW	20時間	10時間	70分
BMW	iX3		80kWh	9.6kW	150kW	27時間	14時間	96分
BYD	ATTO3		58.56kWh	6.0kW	85kW	20時間	10時間	70分
VW	ID.4		77kWh	6.0kW	90kW	26時間	13時間	62分
Audi	Q4 e-tron		82kWh	11kW	135kW	27時間	14時間	61分
メルセデス	EQE		90.6kWh	11kW	170kW	31時間	16時間	105分

※50kWの場合

※上記は参考です。詳しくは各メーカーへお問い合わせください。

# 主な電気自動車の充電時間 (3)

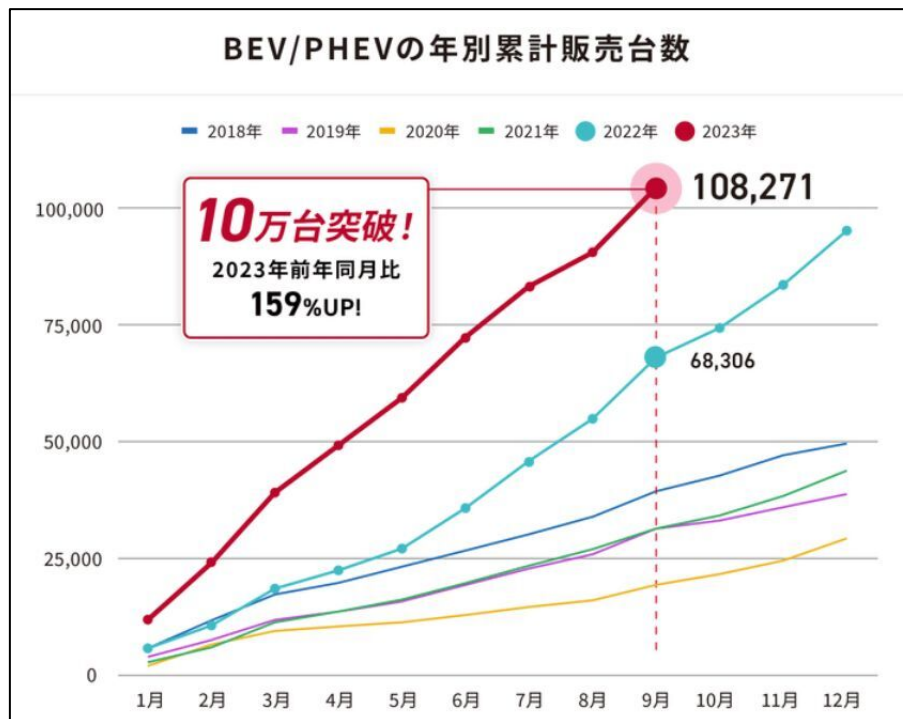
## 国内販売車種別の充電時間 (3)

メーカー	車名		バッテリー容量	最大充電出力		充電時間		
				普通	急速	3kW	6kW	急速* (80%まで)
マツダ	MX-30		35.5kWh	6kW	50kW	12時間	5時間	43分
スバル	ソルテラ		71.4kWh	6.6kW	150kW	21時間	12時間	60分
テスラ	モデル3		54kWh	11kW	170kW	13時間	7時間	20分 (テスラSC※)
	モデルY		57.5kWh	11kW	250kW	18時間	9時間	35分 (テスラSC※)
	モデルX		100kWh	11kW	250kW	33時間	17時間	52分 (テスラSC※)

※50kWの場合 テスラはスーパーチャージャー 250kWにおける50%充電  
 ※上記は参考です。詳しくは各メーカーへお問い合わせください。

# EV普及率・普及台数

国内で販売されたEVおよびPHEVの新車販売台数は2023年1月～9月の累計で10万8271台となり、初めて年間累計販売台数が10万台を突破しました。



神奈川県におけるEV/PHEVの普及台数（2009年～2022年総計）は約3万台弱で、全国3番目に位置していますが、人口1万人あたりの普及台数は27番目に留まっており、今後の増加が見込まれます。

※画像出典：ENECHANGE



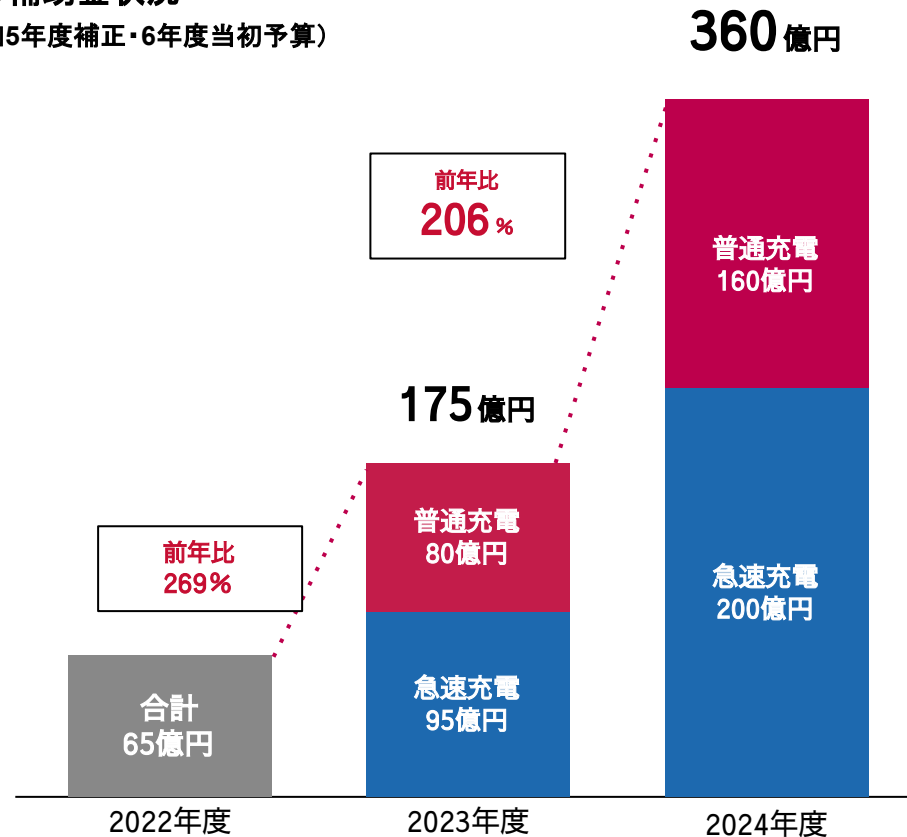
# マンション等のEV充電設備の整備に関するトピック（1）

## ①国の充電インフラ補助金の拡充

経済産業省は、2030年までの充電器設置目標を15万口から30万口に倍増し、令和6年度は、マンションなどへの普通充電器の設置に対する補助金について、前年比2倍の予算を確保しました。

### 国の補助金状況

（令和5年度補正・6年度当初予算）



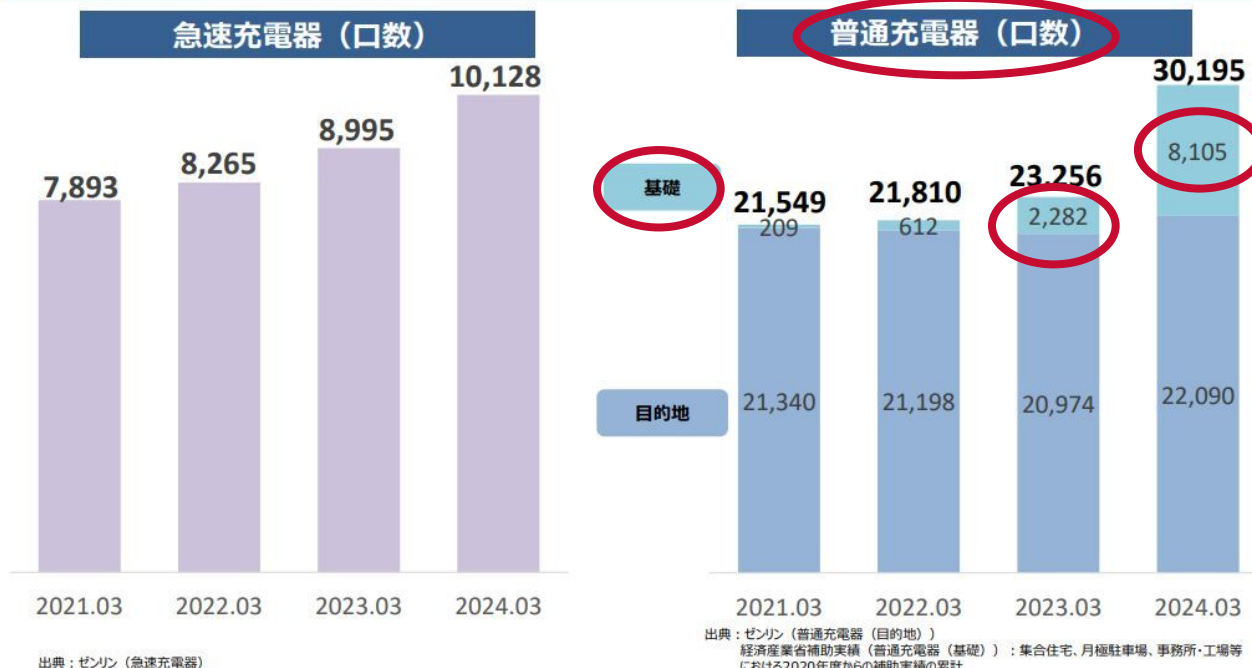
# マンション等のEV充電設備の整備に関するトピック（2）

## ②マンション等の普通充電器の整備・普及状況

経済産業省によると、マンションを含む基礎充電において、普通充電器の設置口数が2023年の2282口から2024年には8105口へと大幅に増加。補助金活用により普及が進んでいることがわかります。

### 急速充電器・普通充電器の整備状況

- 23年度末（24年3月）時点で、**急速・普通を合わせて約4万口の充電器が整備されている。**
- **急速充電器**に、前年度末と比較して約1100口増加し、**1万口を超えた。**
- **普通充電器**は、集合住宅等で前年度末から約5800口増加するなど、**合計3万口を超えた。**



# マンションでのEV充電設備の整備に関するトピック (3)

## ③マンション標準管理規約の改正

国土交通省は2024年6月7日に「マンション標準管理規約」を改正  
EV充電設備の設置に関し「普通決議」での採択を可能とすることを標準管理規約に明記しました。

従前、明記が無かったため、特別多数決議により採択していた場合も見受けられましたが、改正により導入し易い環境が整いました。

### マンション標準管理規約（単棟型）コメント 第47条関係抜粋

カ) 充電設備の設置工事に関し、充電器自体の設置及び配線を通すために必要な配管の設置など、建物の躯体部分や敷地への加工の程度が小さい工事を行う場合や、敷地へ相当程度の加工を加えることなく受変電設備を変更する場合は、普通決議により実施可能と考えられる。

# マンションでのEV充電設備の整備に関するトピック（4）

## ④神奈川県内新築分譲マンションでの主な導入事例（予定）

所在地	設置概要	物件名（施工予定時期） 売主
藤沢市	共同充電設備を装備	THE TOWER 湘南辻堂（2025年9月） リストデベロップメント(株)
横浜市	専用駐車場にEV充電設備を導入	グレースシア横浜（2025年5月） 相鉄不動産(株)
川崎市	専用駐車場7区画にEV充電設備を導入	プレミスト宮崎台RISETERRACE（2025年4月） 大和ハウス工業(株)
横浜市	一部区画にEV充電スタンドを導入	ヴェレーナ玉川学園前（2025年5月） 大和地所レジデンス(株)
横浜市	平置駐車場にEVコンセントを設置	ワザック横濱新杉田（2025年7月） (株)日本ハウスHD
相模原市	専用駐車場にEV充電器対応区画を用意	ブランズタワー橋本（2026年6月） 東急不動産(株)
相模原市	敷地内駐車場の全ての区画にEVコンセント設置	プラウドタワー相模大野クロス（2025年11月） 野村不動産(株)

# マンションでのEV充電設備の整備に関するトピック（5）

- ⑤東京都の建築物環境計画書制度に登録された集合住宅のデータでは、工事完了済みの集合住宅におけるEV充電器の設置割合は5%とまだ低い状況ですが、これから建設される計画中の集合住宅への設置割合は18%となっており、今後増加する傾向にあることが見えます。

関連URL [https://www7.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/building/area\\_select.html](https://www7.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/building/area_select.html)

- ⑥東京都では、令和7年度より新築物件におけるEV充電設備の設置が義務化されます。

(適用条件あり)

- 将来のZEV普及の社会を見据えた充電設備の整備を促進するため、ZEV充電設備が一定台数設置できるよう、新築時に備えるべき基準を新設
- 新建物稼働後の使用者ニーズに応じた増設に円滑に対応できるよう、充電設備の設置とともに、配管等を整備する基準とする。

## 【充電設備の整備基準】

	整備基準の適用条件	実装整備基準	配管等整備基準
専用駐車場	5以上の区画を有する専用駐車場を設ける場合	区画の20%以上に整備 上限：10台	区画の50%以上に整備 上限：25台
共用駐車場	10以上の区画を有する共用駐車場を設ける場合	1区画以上に整備 上限：設定しない	区画の20%以上に整備 上限：10台

※ 専用駐車場：建物を継続的に利用する者（建物所有者や占有者（テナント、賃貸住宅における居住者等））が、契約などにより自家用若しくは事業用に使用する特定の自動車のための駐車場

※ 共用駐車場：建物所有者や占有者以外の者が一定時間駐車する駐車場で、不特定の自動車のための駐車場

画像出典：東京都環境局 建築物環境計画書制度「改正概要」からの抜粋  
[https://www7.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/building/outline\\_2025.html](https://www7.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/building/outline_2025.html)

# 分譲マンションにおける設置の進め方 (1)



\* 補助金申請書の提出は理事会の承認のみで可

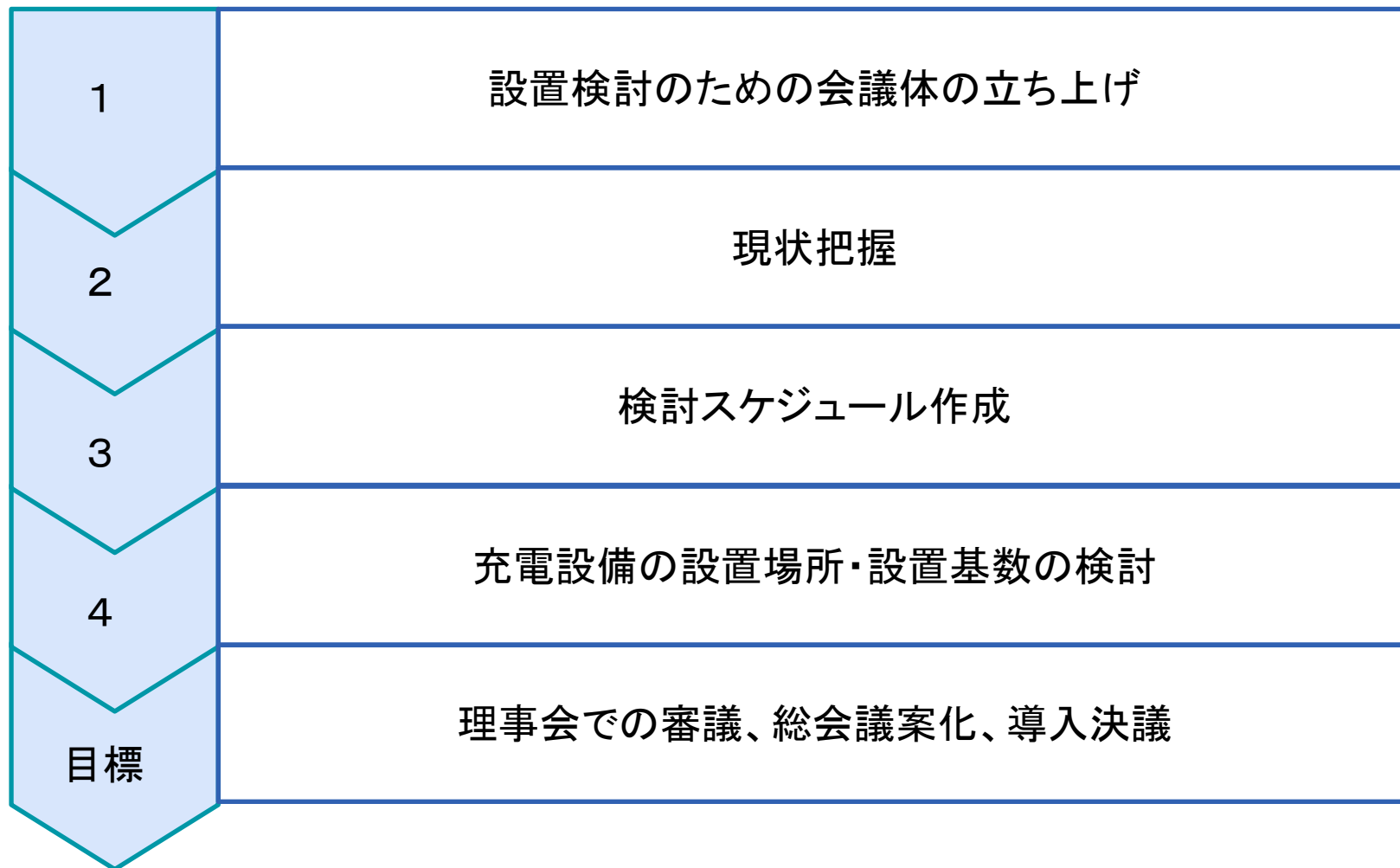
交付決定日後に、交付決定内容を変更する場合は、センターへ申し承認を得る必要があります。

画像出典：一般社団法人 次世代自動車振興センター「充電インフラ補助金サイト」, [https://www.cev-pc.or.jp/lp\\_evphvcharge/](https://www.cev-pc.or.jp/lp_evphvcharge/)

設置意思決定の際に住民総会まで期間が空いている際は、全体のスケジュールに沿って進行するために臨時総会を開いて決議をとる場合などもあります。

## 分譲マンションにおける設置の進め方（2）

### 充電設備設置検討の手順



## 分譲マンションにおける設置の進め方（3）

### 1. 設置検討のための会議体の立ち上げ

理事会メンバーや住民からの依頼を受けて、理事会内、または理事会の下部組織として専門委員会を立ち上げて、設置の検討を進めます。  
最終的には理事会で審議・総会議案化して、総会での導入決議を目指します。

#### 【チェックポイント】

外部のサポート※を得る事で検討のハードルを下げましょう。  
※次頁において充電サービス事業者の対応内容例を紹介します。

充電設備機器の提供、補助金申請支援、工事から運用サポートまで、トータルでサービスを提供している事業者が多く、設置者の負担を最小限に抑えることが可能です。

東京都マンションEV充電器情報ポータル  
「各充電事業者のサービス内容一覧表」



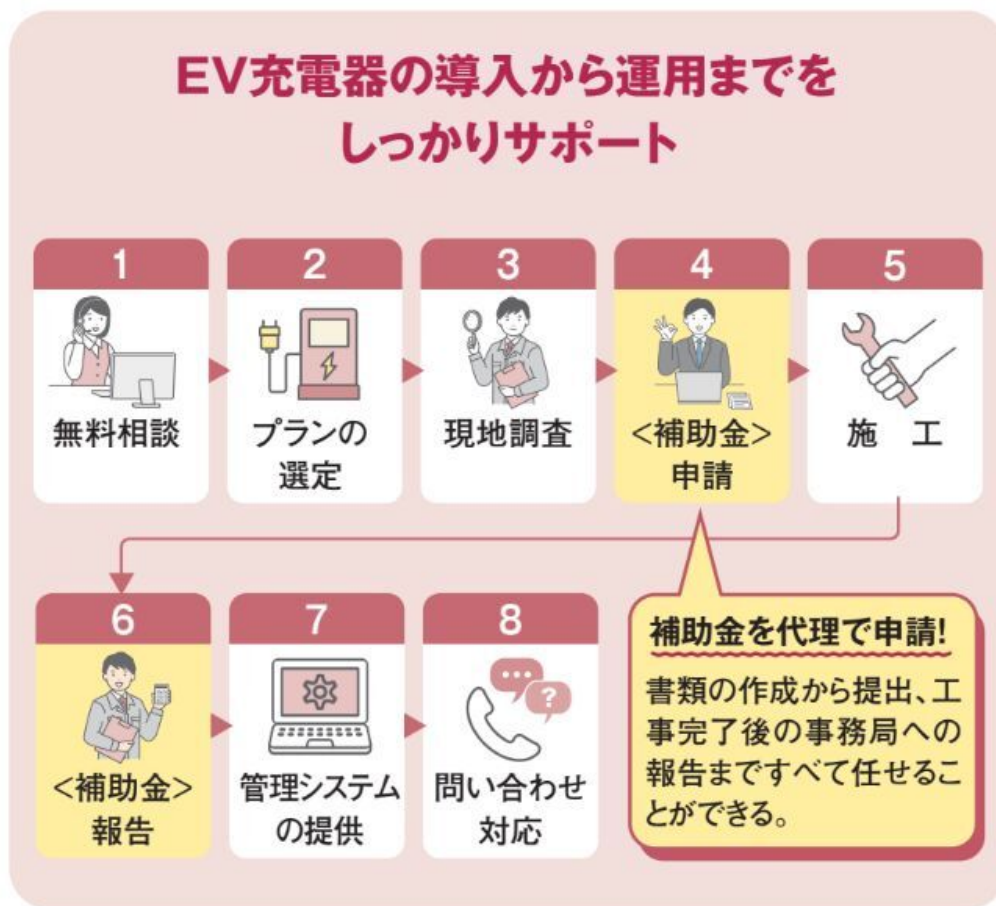
（注意）

充電サービス事業者との商談・契約行為等は、事業者とユーザー両者の判断で行うものであり、神奈川県はその結果等に責任を負いません。



## 分譲マンションにおける設置の進め方（4）

国等の補助金を活用した場合でも一定の持ち出し費用が必要になります。また、補助金申請には現地調査等による詳細情報の把握や、詳細図面など申請に必要な書類の作成などが必要であり、施設のオーナーやマンション理事会等が行うのは難しい面もあります。充電サービス事業者に依頼することで、費用負担の低減や補助金の申請支援を依頼することも可能です。充電サービス事業者を比較し活用することで、スムーズな充電設備設置が期待できます。



# 分譲マンションにおける設置の進め方（5）

## 2. 現状把握

設置を進めやすくするための手段として、住民のニーズを把握しておくことをお勧めします。

### 【チェックポイント】

アンケートの実施によりEV購入希望や、充電器への関心度を把握しましょう。

### アンケート例①

質問1. 当マンションにEV設備(電気自動車充電設備)を導入することについて

A. 賛成      B. 反対(いない)

※A・Bどちらかに○印

質問2. 上記質問にて、A. 賛成 に○印を付けた方にお聴きします。

電気自動車の所有について

A. EV設備の導入が実現され次第、すぐにでも(電気自動車を)購入したい。

B. EV設備導入後、すぐにでは無いがいずれ購入したい。

C. 購入するつもりはない。わからない。他

※A・B・Cどちらかに○印

質問3. 本件についてご意見がある方はご記入ください。

# 分譲マンションにおける設置の進め方（6）

## アンケート例②

- 1 電気自動車を所有していますか？ どちらかに○をお願いします。
  - ・所有している
  - ・所有していない
  
- 2 電気自動車の購入を検討していますか？ 該当する項目を選択してください。
  - ・すでに購入を決めた
  - ・購入を検討中
  - ・マンションに充電設備ができれば購入したい
  - ・購入の予定はない
  
- 3 充電設備の導入を検討すべきでしょうか？
  - ・検討を進めて欲しい
  - ・理事会にお任せする
  - ・検討の必要はないと思う
  
- 4 ③の質問において、「検討を進めて欲しい」と記載頂いた方への質問です。  
導入にあたり重視したい項目を選択してください
  - ・充電設備の導入費用（管理組合の負担）が少ないこと
  - ・充電設備の性能が良いこと（充電時間が短い）
  - ・充電にかかる費用が安いこと
  - ・EVを所有しない方の費用負担が少ない、若しくは無いこと

⑤充電設備の導入についてご意見あればご記入ください

## 分譲マンションにおける設置の進め方（7）

### 3. 検討スケジュール作成

充電設備を設置するためには管理組合の総会決議が必要です。定期総会若しくは臨時総会での決議をおこなう必要があるため、総会の開催時期を念頭に検討スケジュールを作成しましょう。なお、その際は補助金の受付期間を併せて把握しておくとう良いでしょう。

#### スケジュール例

No	イベント	時期	備考
①	理事会①	2024年9月	検討開始
②	サービス事業者による調査	随時	現地調査にて設置場所・台数検討
③	アンケート実施	随時	アンケートにより住民意向調査
④	理事会②	2024年10月	各社から提案書受領
⑤	理事会③	2024年11月	複数案の検討
⑥	住民説明会開催	2024年11月	必要に応じ実施することで合意形成が得やすくなります
⑦	総会前理事会④	2024年12月	充電設備の選定や台数の確定
⑧	総会開催	2025年1月	
⑨	補助金申請	2025年4月～	申請時期は交付団体や年度によって異なります
⑩	充電設備の設置	2025年夏頃	補助金の交付決定後に設置工事を行います

# 分譲マンションにおける設置の進め方（8）

## 4. 充電設備の設置場所・設置基数の検討

住民アンケートや充電サービス事業者の提案を元に、設置場所や設置基数を検討します。設置基数により必要な電力設備が決まります。

### 【チェックポイント】

駐車場区画は専用利用または共用利用区画がありますが、既存の利用を犠牲にしない区画が導入合意を得やすい傾向があります。

#### ①複数の共用利用区画（来客用など）

複数ある区画の1部を充電設備の設置場所として選定

#### ②空いている専用利用区画

充電設備設置後はEV充電可能な区画として活用



# 事例紹介（１）導入決議例

マンション種別	検討経緯	
<p>相模原市 Gマンション（単棟型）</p> <p>①戸数 130戸</p> <p>②駐車場台数 130台（専用） 10台（共用） 共に平置き式</p> <p>③導入充電設備 3台（共用） 6kWケーブル付き</p>	<p>2023年8月</p> <p>2023年9月</p> <p>2023年10月</p> <p>2023年11月</p> <p>2023年11月～1月</p> <p>2024年3月</p> <p>2024年5月</p> <p>2024年6月</p> <p>2024年9月</p>	<p>本セミナーに参加 <b>理事有志による参加</b></p> <p>充電サービス事業者に提案依頼 <b>複数社に依頼して比較</b></p> <p>充電サービス事業者選定、現地調査</p> <p>理事会開催 調査結果を事業者からヒアリング</p> <p>理事会において複数回検討</p> <p>住民向け説明会開催 <b>事業者と理事会双方により丁寧な質疑応答実施 不安や疑問点の解消に努める</b></p> <p>定期総会開催・議案可決</p> <p>充電サービス事業者へ申し込み・国の補助金申請</p> <p>国の補助金採択</p>
<p><b>【導入ポイント等】</b></p> <p>共用駐車区画の一部を設置場所に選定。設置自体の合意形成は比較的容易に進む。 充電サービス事業者選定においては管理組合や非EV利用者の費用負担が無い点を重視。</p>		

## 事例紹介（２）導入決議例

マンション種別	検討経緯	
<p>大阪市 Rマンション(団地型)</p> <p>①戸数 465戸（4棟）</p> <p>②駐車場台数 300台（専用）※空き有 各棟毎の自走式立体駐車場 7台（来客用）</p> <p>③導入充電設備 12台（専用）各棟3台 6kWケーブル付き</p>	<p>2023年9月</p> <p>2023年10月</p> <p>2023年12月</p> <p>2024年 1月</p> <p>2024年3月</p> <p>2024年4月</p> <p>2024年9月</p>	<p>住民より導入要望があり検討開始</p> <p>充電サービス事業者に提案依頼、同月調査実施 <b>管理組合や非利用者の費用負担の無い事が前提条件の為、補助金活用による無償提案が実現可能な事業者を選定</b></p> <p>理事会開催 調査結果を事業者からヒアリング</p> <p>住民向け説明会開催 <b>事業者のみの対応としたが、疑問点は後日理事会で広報を実施し解消</b></p> <p>臨時総会開催・議案可決（定期総会は6月）</p> <p>充電サービス事業者へ申し込み</p> <p>国の補助金採択により設置工事実施</p>
<p><b>【導入ポイント等】</b> 専用利用区画への設置だが、空き区画を活用。空車室対策としての側面もあり、大きな反対無く導入決議実現。</p>		

# 事例紹介（3）施工例

マンション種別	施工例
<p>東京都 Mマンション(単棟型)</p> <p>①戸数 160戸 (1棟) ②駐車場台数 160台 (専用) ※空き無 自走式立体駐車場 2台 (共用) ③導入充電設備 2台 (共用) 6kWケーブル付き自立式 電源 共用部受電設備</p>	<p>設置前</p> 
<p>設置後</p> 	



# 事例紹介（４）施工例

マンション種別	施工例
<p>東京都 Hマンション(単棟型)</p> <p>①戸数 120戸 (1棟) ②駐車場台数 101台 (専用) ※空き無 平面駐車場 4台 (共用) ③導入充電設備 2台 (共用) 6kWケーブル付き壁掛け式 電源 特例引込により新規電源確保</p>	<p>設置前</p> 
<p>設置後</p> 	 

# 神奈川県補助制度

神奈川県では、電気自動車の充電環境の整備を促進するため、共同住宅等に普通充電設備を整備する場合、経費の一部を補助します。（令和6年12月27日まで受付、予算がなくなり次第終了）

## 【補助対象設備】

新規（追加）又は入替で整備するEV普通充電設備（上限50基）



## 【補助対象の設置先】

県内の共同住宅、又はバス、タクシー、トラック、レンタカー事業所（※一戸建て住宅は対象外）

## 【補助額】

1基につき、次のうちいずれか低い額（千円未満は切り捨て）

1. 補助対象経費の額（補助対象経費＝EV普通充電設備等の設備費と設置工事費に係る経費）
2. 次の設備別の補助上限額

区分	補助上限額
普通充電設備	15万円
充電用コンセントスタンド	
充電用コンセント	10万円

3. 補助対象経費からEV普通充電設備に対する国の補助金の補助額を控除した額

詳しくは神奈川県のHP「令和6年度神奈川県EV普通充電設備整備費補助金」をご確認ください。

関連URL: <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f4259/normal-charge.html>

※ 共同住宅向けの急速充電設備の整備に関する補助金は公共用に限りません。

# 市町村の主な補助制度

神奈川県のおも、市町村においても、共同住宅へのEV充電設備の整備に対する補助金制度を設けている場合があります。詳しくは各市町村にご確認ください。

横浜市：集合住宅向け電気自動車等用充電設備設置費補助金  
(申請受付期間 令和6年8月20日～令和7年2月14日)



川崎市：EV用充電インフラ補助金（共同住宅向け）  
(申請受付期間 令和6年4月8日～令和7年1月17日)



相模原市：電気自動車充電設備導入補助金  
(申請受付期間 令和6年6月6日～令和7年1月31日)



横須賀市：電気自動車用充電器等設置費補助金  
(下記HPをご確認のうえ市担当課へご相談ください。)



厚木市：共同住宅用電気自動車充電設備導入奨励金  
(申請受付期間 受付中～令和7年3月17日)



座間市：電気自動車等用充電器設置補助金  
(申請受付期間 令和6年4月15日～申請額の累計が予算額に達した時点)



※隣接した二次元コードが読みづらい場合、読み取りたいコード以外を隠して読み込んでください。

# まとめ

EV充電設備を整備するには、充電器の設置場所や必要数などの各物件の特性に合わせたプラン設計が不可欠となります。まずはそれぞれの物件に応じてどのような設計が適切か、管理組合のみなさまで検討するところから始めましょう。

普通充電設備と  
急速充電設備  
どちらにしよう？

設置する場所は  
専用部分？  
共用部分？

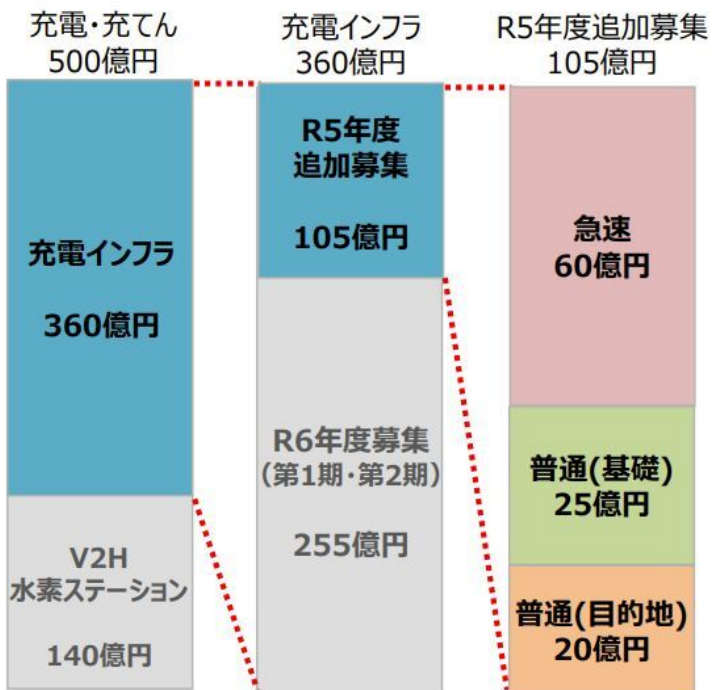
運用方法は  
どのような方法が  
使いやすいか？



# Appendix 国の補助制度 (1)

経済産業省の充電インフラ補助金は、一般社団法人次世代自動車振興センターにより執行されています。令和5年度補正・令和6年度当初予算として360億円が配分されました。

## 予算の配分 (R5補正・R6当初案)



※予算配分は現時点案であり、変更となる可能性がある。

## 充電インフラ補助金の執行の概要

- 事業実施時期の平準化を目的とし、**合計3回**（R5年度追加募集、R6年度第1期、第2期）**に分けた募集を実施**する。
- 令和4年度補正・令和5年度当初事業の「予備分」において導入した、**一定の基準に基づき受付案件を決定するという方法を維持**する。
- このうち、**R5年度追加募集（105億円）の概要については、別紙参照**

## スケジュールの目安

- 現時点で想定しているスケジュールは右表のとおり。
- 受付がなされなかった申請について、別の期に改めて申請を実施することは可能とする。
- 具体的な受付期間等については決定次第、別途案内する。

		受付期間 (令和6年)	交付決定時期 (令和6年)	実績報告締切
R5 追加	急速	3月	5~6月	R6年11月末
	普通	3月	5~6月	R6年10月末
R6 第1期	急速	5~6月	7月中旬 ~8月	R6年12月末
	普通	5~6月	7月中旬 ~8月	R6年11月末
R6 第2期	急速	8月	11月	R7年1月末
	普通	8月 ~9月中旬	11月 ~12月中旬	R7年1月末

画像出典：経済産業省「（資料）充電インフラ補助金の今後の執行について」より抜粋

# Appendix 国の補助制度 (2)

経済産業省の充電インフラ補助金は、充電設備費の50%、工事費の100%が補助されます。  
令和6年度の詳細は、次世代自動車振興センターのHP等をご確認ください。

関連URL <https://www.cev-pc.or.jp/>

一般社団法人 次世代自動車振興センター発行パンフレットより抜粋

今がチャンス! 国からの、補助金でおトクに!



多くの方に補助金を利用いただき、国の補助金「**クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金**」で、EV・PHV用充電設備導入のための補助金が、昨年度の約3倍である約175億円に増やされました。ぜひこのタイミングにご活用ください!

設置費用イメージ例 (マンション/平置き駐車場の場合)<sup>※4</sup>

費用項目	コンセントタイプ(4基)		ケーブル付タイプ(1基)	
	費用	補助額	費用	補助額
充電設備 <sup>※1</sup>	4万円	2万円	30万円	15万円
充電設備設置工事費 <sup>※3</sup>	150万円	150万円	100万円	100万円
合計	154万円	152万円	130万円	115万円
持ち出し費用	<b>2万円</b>		<b>15万円</b>	



- ※1. 補助対象となる充電設備はセンターHPの補助対象充電設備一覧をご確認ください。
  - ※2. 工事の規模等により費用・補助額は異なります。また充電設備設置に必要なと認められた経費のみが、補助対象となります。
  - ※3. 工事項目ごとに補助上限額があります。
  - ※4. 費用は標準的な規模での工事を行った場合のイメージです。設置台数や工事内容により変動しますのでご注意ください。
- \*国の補助金は、自治体の補助金との併用ができます。お住まいの自治体に補助制度がある場合、自治体に要件等をご確認頂いた上、併用をご検討ください。  
\*補助金はなくなり次第、受付終了となります。

画像出典：一般社団法人 次世代自動車振興センター「充電設備導入の皆さま向けパンフレット」  
※令和4年度補正予算・令和5年度当初予算充電インフラ整備事業のものを記載しています。  
令和6年度の詳細は次世代自動車振興センターのHP等をご確認ください。